

R7 札幌市立稲積小学校

全国学力・学習状況調査の結果について No.1

本校児童の結果概要及び改善の方向

	領域	本校の概要	今回の調査における課題	改善の方向
国語	言葉の使い方に関する事項	◎	・各内容の中心を明確にし、内容のまとまりで段落を作ったり、段落相互の関係に注意したりして、文章の構成を考えること。	⇒目的や相手、中心となる内容を確認し、そこから主要なポイントを書き出して文章全体の構造を考えるなど順序立てて文章を書く活動を取り入れていく。
	情報の扱い方に関する事項	○		
	我が国の言語文化に関する事項	◎	・目的や意図に応じて簡単に書いたり詳しく書いたりして書き表し方を工夫すること。	⇒誰に何を伝えるのかを明確にし、どのような表現がより伝わるのかを考えながら書いていく学習活動を継続すると同時に、様々な表現方法に触れる機会を設けていく。
	話すこと・聞くこと	◎		
	書くこと	▼	・事実と感想、意見などとの関係を叙述を基に押さえ、文章全体の構成を捉えて要旨を把握すること。	⇒文章を文末表現に注目して、事実と感想、意見などに区別しながら読んだり、要旨を掴むポイントを確認めたりしながら読む活動を充実させる。
	読むこと	◎		
算数	数と計算	◎	・分数の加法について、共通する単位分数を見だし、加数と被加数が、共通する単位分数の幾つ分かを数や言葉を用いて記述できること。	⇒共通する単位分数を見いだすために、分母の最小公倍数を見つける学習を行う。また、加法で答えだけを出すのではなく通分で分子や分母の数が変わる過程を書き表す活動を充実させる。 ⇒手順を暗記するだけでなく、平行四辺形の定義とその性質をしっかりと押さえた上で、実際に描いていく。真似したり何も見ずに描いたり、慣れてきたら条件を変えて描くなどを繰り返す活動を行う。
	図形	○		
	測定	◎	・基本図形に分解することができる図形の面積の求め方を、式や言葉を用いて記述できること。	⇒まずは、基本図形の求め方をしっかりと身に付けてから、どう補助線を引けば、知っている形に分けられるかを探したり、問題を解くだけでなく、式と言言葉で解き方を書き出したりする活動も取り入れていく。
	変化と関係	◎		
	データの活用	◎		

R7 札幌市立稲積小学校

全国学力・学習状況調査の結果について No.2

本校児童の結果概要及び改善の方向

	領域	本校の概要	今回の調査における課題	改善の方向
理科	「エネルギー」を柱とする領域	▼	・乾電池のつなぎ方について、直列つなぎについて理解しているか。	⇒直列つなぎの基本的なルールを確かめ、実際に実験を行い、つなぎ方によってその効果を確かめる活動を充実させる。
	「粒子」を柱とする領域	▼	・水の温まり方について、問題に対するまとめを導き出す際、解決するための観察、実験の方法が適切だったかを検討し、表現すること。	⇒発想した解決の方法がその通りできていたか考えることの重要性を意識した授業の展開を行う。
	「生命」を柱とする領域	▼	・レタスの種子の発芽条件について差異点や共通点を基に、新たな問題を見だし、表現すること。	⇒表などに情報を整理し、比較できるようにして、そこから見出した差異点や共通点から「なぜ？」や「もし？」と思考を広げる活動を行う。
	「地球」を柱とする領域	▼	・氷がとけてできた水が海に流れていくことの根拠について、理科で学習したことと関連付けて、知識を概念的に理解している。	⇒習得した知識を他の学習や生活に関連付けて考える学習を取り入れる。

- ◎全国の平均正答率と比較し＋３ポイント以上、上回っている。
- 全国の平均正答率と比較し＋３ポイントの範囲内で、上回っている。
- －全国の平均正答率と比較し同じ
- ▽全国の平均正答率と比較し－３ポイントの範囲内で、下回っている。
- ▼全国の平均正答率と比較し－３ポイント以上、下回っている。

【人間尊重の教育に関わる質問】	概要	結果と改善の方向
人が困っているときは、進んで助けていますか	○	左記の上 3 つの項目について、肯定的な回答が非常に多く、困っている人の気持ちを考え、行動しようとする思いやりを持った児童が多いです。 一方で下 2 つの設問は、年々肯定的な回答が増えてきてはいますが、全国と比べると低いです。これからも、学校生活において、「子どもたちの良さを見出し、認め、改善すべき点は子どもの気持ちに寄り添いながら指導する。」そういった経験を積み重ねて、子どもたちが自分自身を認めることにつながるような教育活動を進めてまいります。
いじめは、どんな理由があっても行けないことだと思えますか	○	
人の役に立つ人間になりたいと思えますか	—	
自分にはよいところがあると思えますか	▼	
将来の夢や目標をもっていますか	▼	

【課題探究的な学習に関わる質問】	概要	結果と改善の方向
自分の考えを発表する機会では、自分の考えがうまく伝わるよう、資料や文章、話の組み立てなどを工夫して発表していた	◎	自分の考えを相手に伝えるために、聞き手を意識して、様々な方法を用い、工夫して伝えようとしている児童が多いことが分かりました。 しかし、次の学習や実生活に生かすことに関する項目は、肯定的にとらえる割合が低いことから、子ども自身が分かったことや分からなかったことを自覚できる場の工夫を行っていくとともに、家庭学習等の機会も活用して自らの学びを高めていくことができるように進めていきます。また、他教科の授業で、以前違う教科で習った学習を想起させたり、日常生活のどんな場面で使えるか具体的な話をしたり、学習問題自体を日常生活に繋がるものにしたりするなどの工夫をしてまいります。
先生は、授業やテストで間違えたところや理解していないところについて、分かるまで教えてくれていると思う	○	
学習した内容について、分かった点やよく分からなかった点についてを見直し、次の学習に生かしたりすることができている	▼	
授業で学んだことを、次の学習や実生活に結び付けて考えたり、生かしたりすることができると思えますか	▼	

【ICT 活用に関わる質問】	概要	結果と改善の方向
ICT を使って楽しみながら学習を進めることができる	○	ICT の使用に関しては、全体的に肯定的な回答が多いのが本校の特色です。 しかし、集めた情報を効果的に整理し活用することについては、肯定的な回答の割合が低い傾向がみられることから、どのように整理、分析したらよいのかを具体的に指導することで、さらに楽しく学習に取り組むことができると考えます。
ICT 機器を活用し、分からないことがあった時にすぐに調べることができる	◎	
ICT 機器を使って情報をまとめることができる（図、表、グラフ、思考ツールなど）	▼	
ICT 機器を使って自分の考えや意見を分かりやすく伝えることができる	▼	

【生活習慣に関わる質問】	概要	結果と改善の方向
毎日、朝食を食べている	○	全国平均と比べると▼が付いている項目がありますが、全体的に肯定的な回答が多くなっています。朝食と安定した睡眠習慣の定着は、子どもたちの成長の土台となるもので、この高い結果はご家庭でのお子様への日々の関わりの表われと言えます。これからも、学校においても、就寝時刻を意識させたり、保健指導等で規則正しい生活の重要性を子ども達に伝えたりしていきます。
毎日、同じくらいの時刻に起きている	○	
毎日、同じくらいの時刻に寝ている	▼	

